

公共事業再評価調書（再々評価）

主管課：道路管理課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：村道一周線道路改築事業(県代行事業)		前再評価年度：平成13年度	
	事業種別：道路改築事業	事業主体：沖縄県		(H4～H17)
	事業箇所：粟国村内	根拠法令：道路法		事業期間：H4～H21
	総事業費(百万円)：(2,024) 1,640	費用内訳：補助 9/10		事業量：(10.5km W=10m) 9.6km W=9.5m
1-2 前再評価以降の計画変更	計画ルートの見直し、幅員の見直し			
2 再評価該当項目	<input type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input checked="" type="checkbox"/> ③ その他(計画ルートの変更)			
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input checked="" type="checkbox"/> ⑨ その他(計画ルートの変更)			
4 事業の進捗状況 (H17.3時点)	県が見直し提案したルートとは別に村から新たなルートの提案があり調整の結果ルートが確定したため再評価の必要が生じた。			
	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)
	計 画	1,640	9.6	50.0
	実施済率	902 / 55%	2.3 / 24%	6.4 / 13%
4-2 前再評価以降の主な進捗	・H15.1.30 当初ルートで整備要望 ・H17.2 村が新たなルートを提案 ・H17.5.24 ルート確定			
5 事業効果の評価指標 (検討年40年) (基準年 H16) (単位:百万円)	① 走行時間短縮 8,109 ② 走行経費減少 148 ③ 交通事故減少 0 総便益 8,257 基準年換算(B) 3,402	① 事業費 1,640 ② 維持管理費 185 総費用 1,825 基準年換算(C) 1,945	費用便益比 (B/C) = 3402 / 1945 = 1.7	
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済：観光支援、離島振興を図る道路として早期整備が求められている。 ② 地元・自治体：当初ルートに固執していたが、県が見直したルートとは別に新たに見直しルートの提案があり調整の結果ルートが確定した。 ③ 利害関係者：用地買収は未相続等で難航しているものの事業そのものには反対していない。			
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 本路線は、粟国島を一周する幹線道路であり、粟国村の観光振興および過疎地域の活性化、自立促進を図る道路として必要である。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト縮減)： 幅員を見直しコストを縮減している。 ③ 事業効果の発現状況： 粟国港から長浜ビーチを経て粟国漁港手前まで2.3kmが整備済みであり、事業効果が現れている。			
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等：村との調整結果の現計画で事業をすすめ早期完成を目指す。 ② 対住民関係：道路整備に対する地元住民の要望も高いことから、引き続き用地交渉を重ね速やかな用地取得を目指す。 ③ 執行体制等：村の協力を得て事業推進することになっている。			
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			
10 その他 (前再評価での主な意見等)	島の自然環境に配慮しつつ、かつ基幹産業の発展、観光振興の支援及び生活道路としての位置づけを視野に入れたルートを再検討すること。 見直したルートで村と調整を行い、その結果を委員会に報告すること			

* 1事業概要の上段()は前再評価時点の計画